

カムイワッカ地区におけるその他の取組み予定について

1. アクセス事業の将来目標と実施内容

過年度に掲げたアクセス事業における将来目標と、2023年度の実施状況及び課題について以下にまとめた。

中長期目標	2023年度の実施結果	課題
1. 新方式の延長・野生動物観光の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・ホロベツ地区からのマイカー規制は実施せず ・五湖～カムイワッカ間においてマイカー規制を伴う直通専用シャトルバスを29日間運行 ・改正自然公園法に基づくカメラマン等の利用者への指導 ・ディスタンスキャンペーン 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒグマに関する具体的な数値基準(令和5年10月13日に策定完了)
2. カムイワッカ園地のあり方・滞在時間延長化	<ul style="list-style-type: none"> ・湯の滝利用を新方式にて93日間実施 ・平均滞在は推定1.5～2時間程度 ・カムイワッカ駐車場で深刻な満車は見られず 	<ul style="list-style-type: none"> ・知床公園線の工事進捗を見越した、園地としての共通イメージが必要
3. 従来方式・五湖以外への分散化	<ul style="list-style-type: none"> ・7月と8月の繁忙期に合計9日間の路線バス増便を実施 ・極度の渋滞は減少傾向 	<ul style="list-style-type: none"> ・変容が見られる入込みの量と質への対応
4. 制度の最適化・有償化・スマートな決済の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・湯の滝において事前予約、リスク同意、協力金決済等を一元的に行う専用サイトを構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・日帰り登山者への対応 ・利用拠点ごとに異なる利用制度
5. 自立運営体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・観光庁の事業支援、交付金、協力金収入等による収支のバランス化 	<ul style="list-style-type: none"> ・安定的な収支と自立運営体制

2. 2024年度取組み予定

上記の課題を踏まえた上で、来年度は以下の取組みを実施予定。詳細は当部会及びカムイワッカ地区利用適正化対策協議会において適宜協議と報告を行う。

(1) 知床エコツーリズム戦略見直しに伴う総合的なあり方検討

- ・地域の魅力や価値を来訪者に伝えることを目的に策定されるインタープリテーション全体計画の構成要素を念頭に、エコツアー戦略を改定予定。
- ・作業の過程では過年度のアクセス事業の総括も含めた既存情報の整理、資源の調査、来訪者分析、利用ルールの整理、分野やエリア毎のワークショップ等を実施予定。

（2）岩尾別地区等における利用者対策

- ・ 知床国立公園管理計画の改定を受け、ヒグマとの距離を50メートル未満に保ち、つきまとう行為に対して30万円以下の罰金を科すことが可能となった。今後はこの数値基準に基づいて利用者への指導を強化する予定。
- ・ 数値基準策定を受け、ヒグマ問題啓発に係るチラシと看板を作成予定。
- ・ 野生動物観光の体制作りについては（1）の進捗を踏まえて検討する。